
Nobody Talk ~Dear~

フナキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Nobody Talk ~Dear~

【著者名】

フナキ

【あらすじ】

これから始まっていく物語の扉は、何も知らない。そう遠くない未来で起こるかもしれない、人間達の勝手で生まれた彼ら…。その中でも、人であつたから、幸せを願う。何があるのか、その会話の意味はない。彼らは話し、結末にたどり着く。これは、その会話の初めての返事。

レス1 「始まつてこる」（前書き）

これは、僕が中学二年生の時に、授業中の暇時間にノートに書きつけた物語です。今、思えば色んなところでボロが目立ちますが、自分の中では、お気に入りの初作品です。短編の連載ものなので、お暇な時間にどうぞ。

レス1 「始まつている」

歩いて、疲れて
止まって、休んで
それを繰り返し続けるうちに

「どこまで行くの？」

そんな事を尋ねられたのは…
いつだったか…

願いはエンドレス
終わりの無いものが見たい。

求は最果て

全てからかけ離れた存在になりたい。

目指す行き先は、わからない。
約束された場所
願いが叶う場所、君どいる場所

そこは最果てだから、君と終わりのない約束を続けよう。

僕は先に行って、君を待ちます。

果たして君が來るのか分からぬけど…

今、君はいないけど…

その存在が生まれるのを確かめたから
そこに行くのを信じて待っています。

僕は、願うから。

あきらめないで待つから。

急がなくともいいよ
知らなくてもいいよ
僕はそこにくるから。
僕もまだ着かないから。

君に聞かれた質問の答えは
見つからないかもしれない。

でも、

君が生まれるまで、時間があるから。

いずれ、つながったときに答えよつと想います。
だから、今はこのままでいい…
そう、思えます。

さつきの質問は、まだ答えられないから。
別の質問をください。

それが、今の僕を

創ってくれるから…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6522c/>

Nobody Talk ~Dear~

2010年10月12日03時00分発行